

中沢きみひこコラム



読書をはじめよう

私は、読書が大好きである。小学生のころから大好きだった。小学校の頃は伝記ものが好きで学校の図書館にある伝記ものはすべて借りた。ほかには宇宙の神秘とか歴史ものとかを夢中で読んだ記憶がある。かといって読んだ中身を覚えているかといえばそうでもなく私の性格がなせる業なのか、細かく具体的ではなく大体で大雑把に理解する程度だった。

今は、時間があれば新幹線の中や就寝前などに読書をする。気楽に読める本が最近のお気に入りである。推理小説やコメディ、映画やドラマの原作など。

本はいい。実にいい。時間を紛らわすにはもってこいだが、それだけではない。例えて言うなら、脳に栄養を与える感じの心地よさがある。体の健康維持に食事は欠かせない。体型を維持したい時なら筋トレや散歩なども大切だ。そういう意味で脳にも栄養やトレーニングが必要なのではないかと思う。それに読書は最適だ。知識も得られるし想像力も豊かになる。最近、小さい文字が見づらくなってきたのは不安だが、それでも読書は欠かせない。

政治は、過去や歴史に学ぶべき点もたくさんある。新しい時代にふさわしい新しい発想ももちろん大事だが、温故知新、歴史は繰り返される。いいものは真似てそうでなければ反面教師に。

過去と未来を融合させるのが現在の役目だとするなら、柔軟性と想像力は大きな力となる。こうしたことも読書でヒントが得られるかもしれない。今、教育現場でも読書は重視されている。

読み聞かせに読書習慣。イヤイヤ書く読書感想文より読みたくなる本から読むべきで活字に慣れ親しむこともとても重要。

いいことづくめの読書をはじめませんか。



令和4年度の役職と所属について

5月16日自民党県連大会、同20日臨時議会において今年度の役職と所属が決まりました。

会派 副会長 会計監督代表 厚生問題対策連絡協議会会长

県議会 文教警察委員会（県議16年中8年間同委員会に所属しています）

■厚対連会長として、コロナ対策に緊張感を持って取り組み、医療体制、障害福祉、保育体制、他暮らしを取り巻く安心安全の充実に努めてまいります。

■文教警察委員会では、この分野に詳しい政治家として教育改革・交通安全行政の充実等更なる推進を図ってまいります。

尚、今年度の一般質問登壇は令和5年2月定例会の予定です。

SNSのフォローもお願いします



Facebook



Instagram



Line official

静岡県議会議員
中沢公彦事務所

〒435-0052
浜松市東区天王町1505-1
TEL.053-411-5551
FAX.053-411-5552
<http://www.nakazawakimihiko.com>



中沢公彦 県政報告書

VOL.31
令和4年
新年度号



令和4年度が始まり、いつものように桜は鮮やかに街を彩り、ほんの少し暗い世相を忘れさせてくれました。しかしながら、世の中を取り巻く環境は、大変厳しいものがあります。ウクライナ・ロシア問題、コロナウイルス、北朝鮮ミサイル問題等々先行き不安が続きますが、平和と安心安全を祈りつつ、できることをしっかりとやっていきたいと思います。

この度のロシアによるウクライナ侵攻は、われわれ日本人にとって決して他人ごとではありません。

ある日、突然予期せぬ行動に出る国がこの世にはあるということをさまざまと見せつけられたのです。これは大変な脅威であります。停戦協議も長引く中、国連や米国をはじめとする各国の状況を見たとき、万が一日本にウクライナと同じ状況が起きた場合、日本だけ特別に助けてくれるということはないと思うのが妥当であります。まず、

自國は自國で守る、自衛のための具体的な対策を早急に作るべきであります。

自衛権の行使・安全保障の機能のあり方・自衛隊の存在をどう明記するか・時代に即した憲法改正等々、もはや先送りはできないと思います。今夏最も優先されるべき課題と言つていいでしょう。

自民党も野党も政治を挙げて議論し前へ進めていくことが肝要です。

さて、令和4年度静岡県当初予算は3月17日に可決され、一般会計1兆3,643億円・特別会計7,965億72百万円・企業会計839億17百万円となりました。主な事業や予算については本紙中面をご覧いただきたいと存じます。また、5月20日開会の議会において、今年度の正副議長が選任されました。議長に藪田宏行氏、副議長に和田篤夫氏を自民改革会議で推举いたしました。また、自民党県連三役は幹事長に良知淳行氏・総務会長宮城也寸志氏・政調会長中田次城氏を5月16日の県連大会にて選任いたしました。新体制となり、まずは参議院議員選挙で党勢拡大を目指してまいります。

そして、コロナウイルス対策も引き続き緊張感を持って臨み、静岡県が抱える諸問題も恒常に解決または推進していきます。今後もご指導ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

県民の暮らしと未来を守る静岡県の令和年4度当初予算が可決されました。

※静岡県議会自民改革会議が独自に集計した数字です。

1 「まさか」に備える

関連事業費
暮らしの安全を守る 総額 923 億円^{*}

令和3年度当初予算対比

64億円 UP!

熱海の土石流災害の復旧復興や頻発する豪雨災害対策を始め、防災防犯など暮らしの安全対策の強化を実現しました。

●県土強靭化対策事業費 40億円 

頻発する風水害の対策として河川の安全対策等を集中的に行います。

●警察庁舎整備事業費 28億円 

災害時の拠点としても重要性が増す警察庁舎の整備を行い静岡県の防犯防災を強化します。

関連事業費
子どもの安全を守る 総額 60 億円^{*}

令和3年度当初予算対比

12億円 UP!

こども家庭庁の発足を期に、頻発する通学中の交通事故対策や児童虐待防止等を推進します。

●緊急交通安全対策事業費 10億円 

通学中の交通事故から子どもたちを守るために通学経路の安全対策を行います。

●ヤングケアラー支援体制構築事業費 2千万円 

市や町でのヤングケアラーの支援体制を構築し、家族のケアの責任を負う子どもたちを支える社会を実現します。

2 「学び」をのばす

関連事業費
未来に繋がる 教育環境を守る 総額 710 億円^{*}

令和3年度当初予算対比

82億円 UP!

すべての国民の「学びたい」気持ちに応えられるよう、学校の整備を加速し、多様な学びの機会を守る予算を確保しました。

●高等学校の教育環境充実 131億円 

新構想高等学校の整備を加速し、長寿命化改修工事を積極的に行います。

●大学生等学びの継続支援事業費助成 11億円 

新型コロナの影響で経済的困窮にある学生の学びの継続を支援します。

●私立学校等授業料減免関連事業費 91億円 

私立学校の授業料減免のための就学支援金を年収750万円～800万円の世帯に対し拡充します。

●特別支援学校の教育環境充実 4億円 

ニースの高まる特別支援学校の狭い化解消のため、新校整備や仮設校舎の設置を推進します。

●夜間中学校設置事業費 4千7百万円 

新たに静岡県立夜間中学を設置します。

3 「希望」を未来に

関連事業費
持続可能な静岡県の 未来を守る 総額 80 億円^{*}

令和3年度当初予算対比

31億円 UP!

脱炭素やDX(デジタル技術の活用)などSDGsに呼応した国の対策と連携した事業を積極的に展開します。

●脱炭素社会実現推進事業費 5億円 

中小企業の省エネ等設備の導入に助成を行うなど、中小企業の脱炭素の取組を支援します。

●省エネ住宅普及推進事業費 1億円 

ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)水準の省エネ性能を満たす新築住宅への助成等により、住宅の省エネ化を推進します。

●カーボンニュートラルポート 関連事業費 3億円 

港湾地域における温室効果ガスの排出が全体としてゼロとなる「カーボンニュートラルポート」を形成します。

●ふじのくにデジタルトランス フォーメーション推進事業費 2億円 

デジタルデバイド対策、市や町のDX支援を通じてデジタル社会の実現に向け取り組みます。

4 「食・自然」を育む

関連事業費
豊かな農林水産業を守る 総額 276 億円^{*}

令和3年度当初予算対比

41億円 UP!

静岡県の豊かで多様な農林水産業を守り育む事業を積極的に展開します。

●農業地域生産力強化整備事業費 48億円 

茶園の再編や高収益作物への転換を見据え、戦略的な産地戦略を実現する整備を強力に推進します。

●新規就農者育成総合対策事業費助成 11億円 

新規就農者の機械等の導入や研修を充実させ、農業の新たな担い手を育成します。

●森林・林業 イノベーション推進事業費 1億円 

森林のデジタル情報基盤を整備し、林業の飛躍的な生産性向上を後押しします。

●魚介類種苗生産施設整備事業費 4億円 

「温水利用研究センター沼津分場」の再整備を通じて、栽培漁業の生産性向上を目指します。

6 「あんしん」をいつも

関連事業費
安心の医療福祉を守る 総額 364 億円^{*}

令和3年度当初予算対比

86億円 UP!

安心して医療福祉が受けられる環境の整備のための予算を充実させました。

●医療福祉人材待遇改善関連事業費 62億円 

新型コロナへの対応と少子高齢化等への対応が重なる最前線で働く方の収入を引き上げる為に助成を行います。

●ふじのくにバーチャル メディカルカレッジ運営事業費 15億円 

静岡県の医師少数県脱出に向け、医学生への就学研修資金貸与事業を充実させます。

●認知症総合対策推進事業費 1億円 

医療、介護、福祉等の総合的な支援で、認知症になつても住み慣れた地域で安心して暮らすことができる体制を整備します。

5 「働く」を支える

関連事業費
中小企業の 経営基盤を守る 総額 84 億円^{*}

令和3年度当初予算対比

15億円 UP!

県民の9割以上の働く場である中小企業の経営を下支えする予算を確実に確保しました。

●中小企業向制度融資促進費助成 9億円 

脱炭素支援資金を新設し、中小企業のSDGs経営を後押しします。

●EV・自動運転化等 技術革新対応促進関連事業費 4億円 

EV化やデジタル化で産業構造が激変する自動車産業に携わる中小企業の、変化への対応を応援します。

●地域公共交通等 活性化推進事業費助成 4億円 

地域公共交通の運行維持への支援や、車輌維持費の支援を行います。新たに運転代行業を対象に加えました。

7 「コロナ」への対応

関連事業費
新型コロナウイルスから 県民の命と暮らしを守る 総額 908 億円^{*}

令和3年度当初予算対比

370億円 UP!

ワクチン接種の推進、検査体制の強化、ウィズコロナの経済支援など幅広い対策を予算化しました。

●新型コロナウイルス 感染症対策事業費助成 522億円 

入院病床確保や施設整備等で新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備えます。

●新型コロナウイルス 感染症対策事業費 95億円 

軽症患者の療養体制確保や相談体制を整備し、感染拡大を防止します。

●新型コロナワクチン 接種体制確保事業費助成 18億円 

感染拡大を防止するため、3回目のワクチン接種体制を構築します。